

Ⅲ. 調査の結果

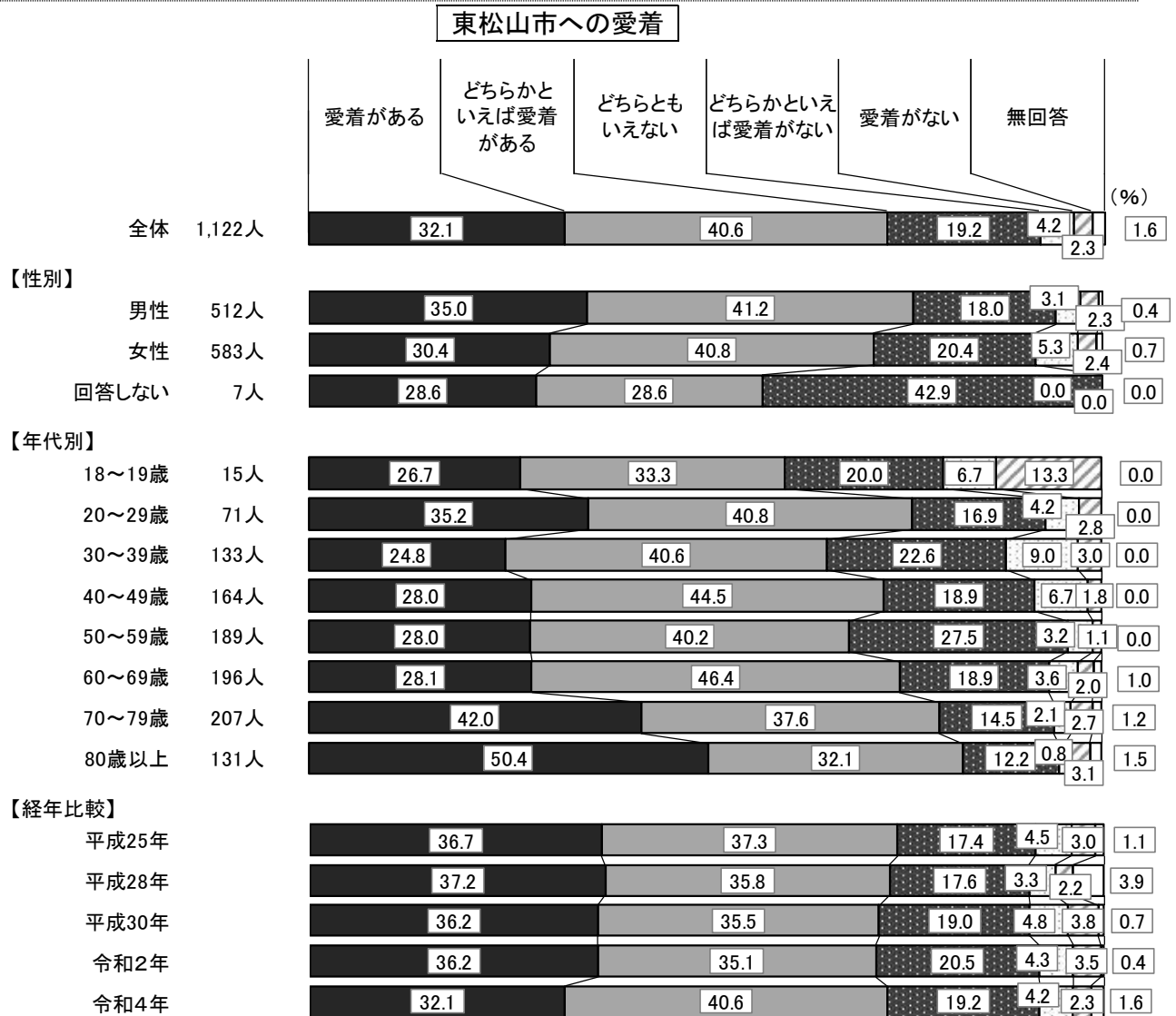
Ⅲ 調査の結果

1 まち全体の印象について

1-1 東松山市への愛着

◆ “東松山市に愛着を感じている” 72.7% ◆

問1. あなたは、東松山市に愛着を感じていますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

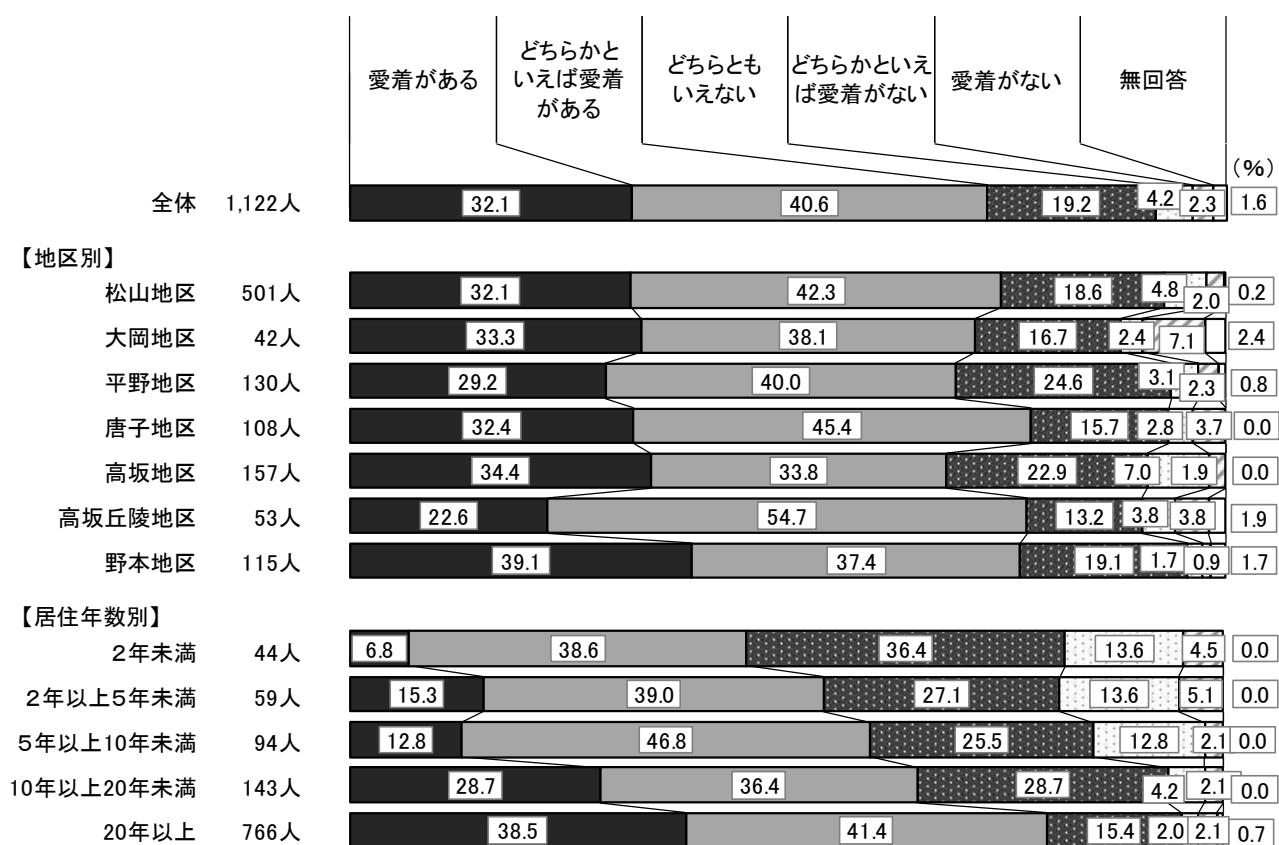


全体では「愛着がある」と「どちらかといえば愛着がある」をあわせた“東松山市に愛着を感じている”の割合が72.7%、「どちらともいえない」の割合が19.2%、「どちらかといえば愛着がない」と「愛着がない」をあわせた“東松山市に愛着を感じていない”の割合が6.5%となっています。

年代別でみると“東松山市に愛着を感じている”と回答している割合は80歳以上で82.5%と最も高く、18～19歳で60.0%と最も低くなっています。高年齢層に向けておおむね割合が高くなる傾向にあります。

令和2年度調査と比較すると、“東松山市に愛着を感じている”の割合が1.4ポイント増加しました。

東松山市への愛着



地区別でみると“東松山市に愛着を感じている”は、高坂地区を除く全ての地区で7割以上となっています。

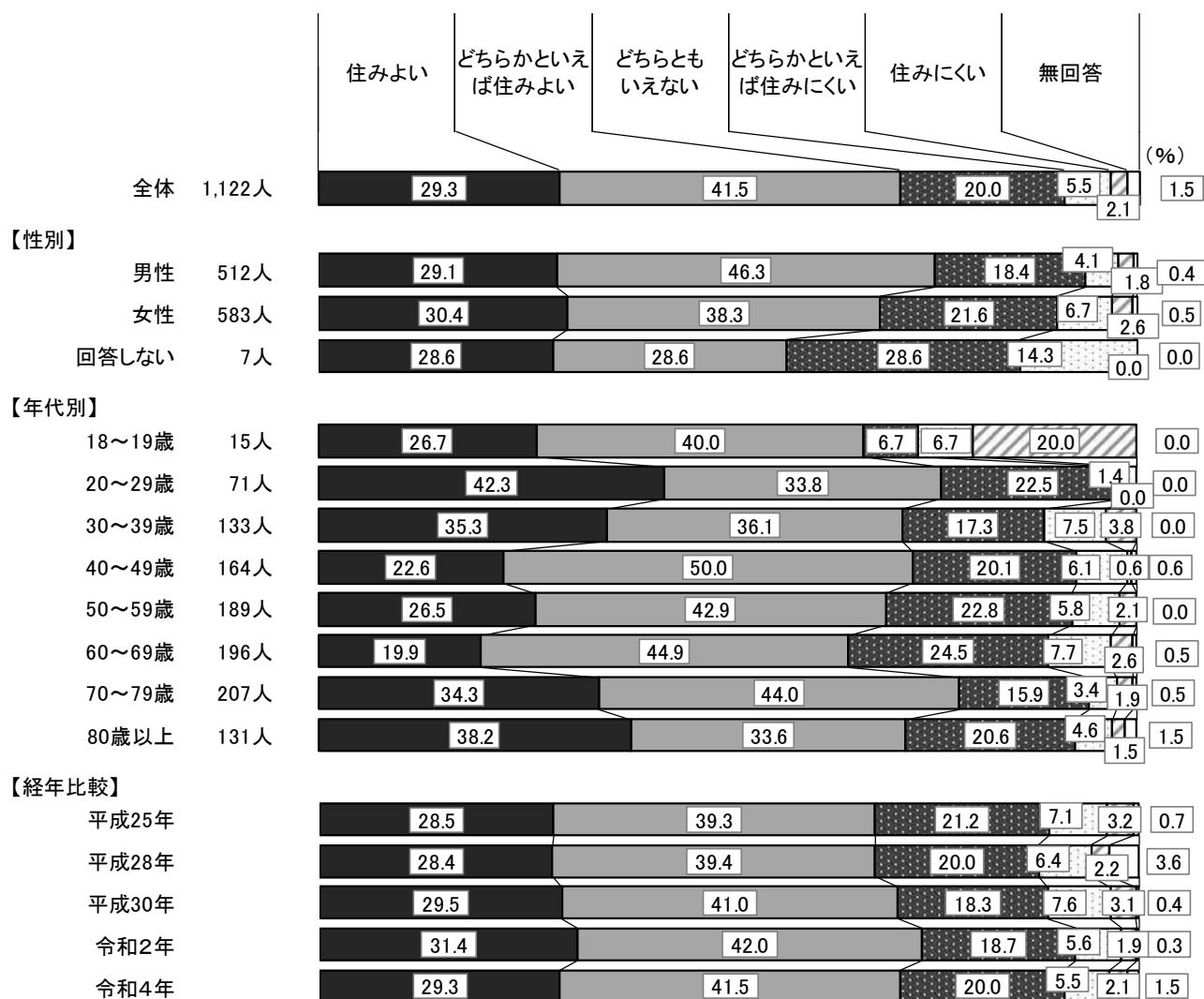
居住年数別でみると“東松山市に愛着を感じている”は、年数が長くなるほど高くなる傾向にあり、20年以上では79.9%となっています。

1-2 東松山市の住みよさ

◆ “住みよいと感じている” 70.8% ◆

問2. あなたにとって、東松山市は住みよいまちですか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

東松山市の住みよさ

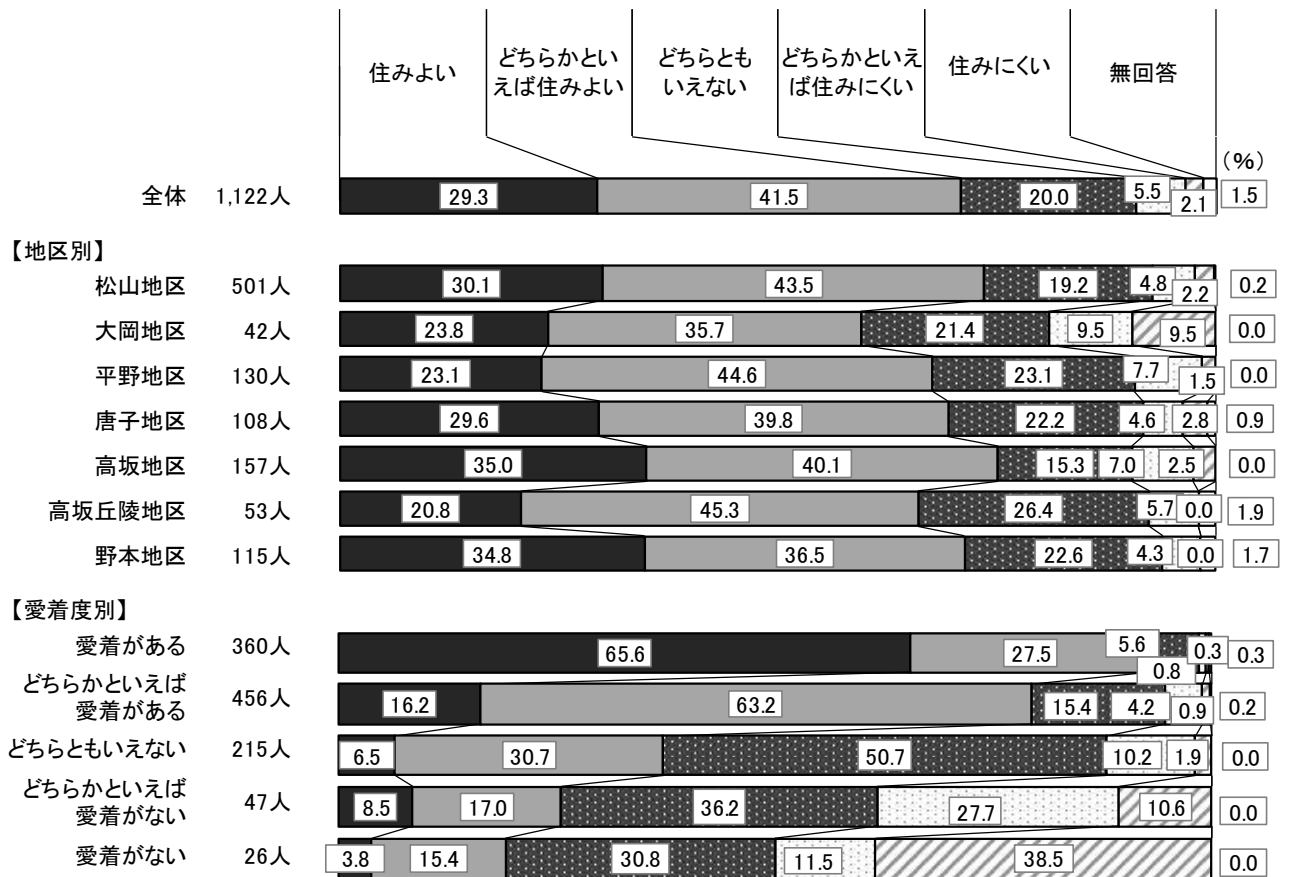


全体では「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」をあわせた“住みよいと感じている”の割合が70.8%、「どちらともいえない」の割合が20.0%、「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」をあわせた“住みにくいと感じている”の割合が7.6%となっています。

年代別でみると“住みよいと感じている”は、18～19歳、50～59歳、60～69歳を除いた年代で7割を超え、70～79歳で78.3%と最も高くなっています。

令和2年度調査と比較すると“住みよいと感じている”が2.6ポイント減少しており、平成25年度調査以降、初めての減少となります。

東松山市の住みよさ



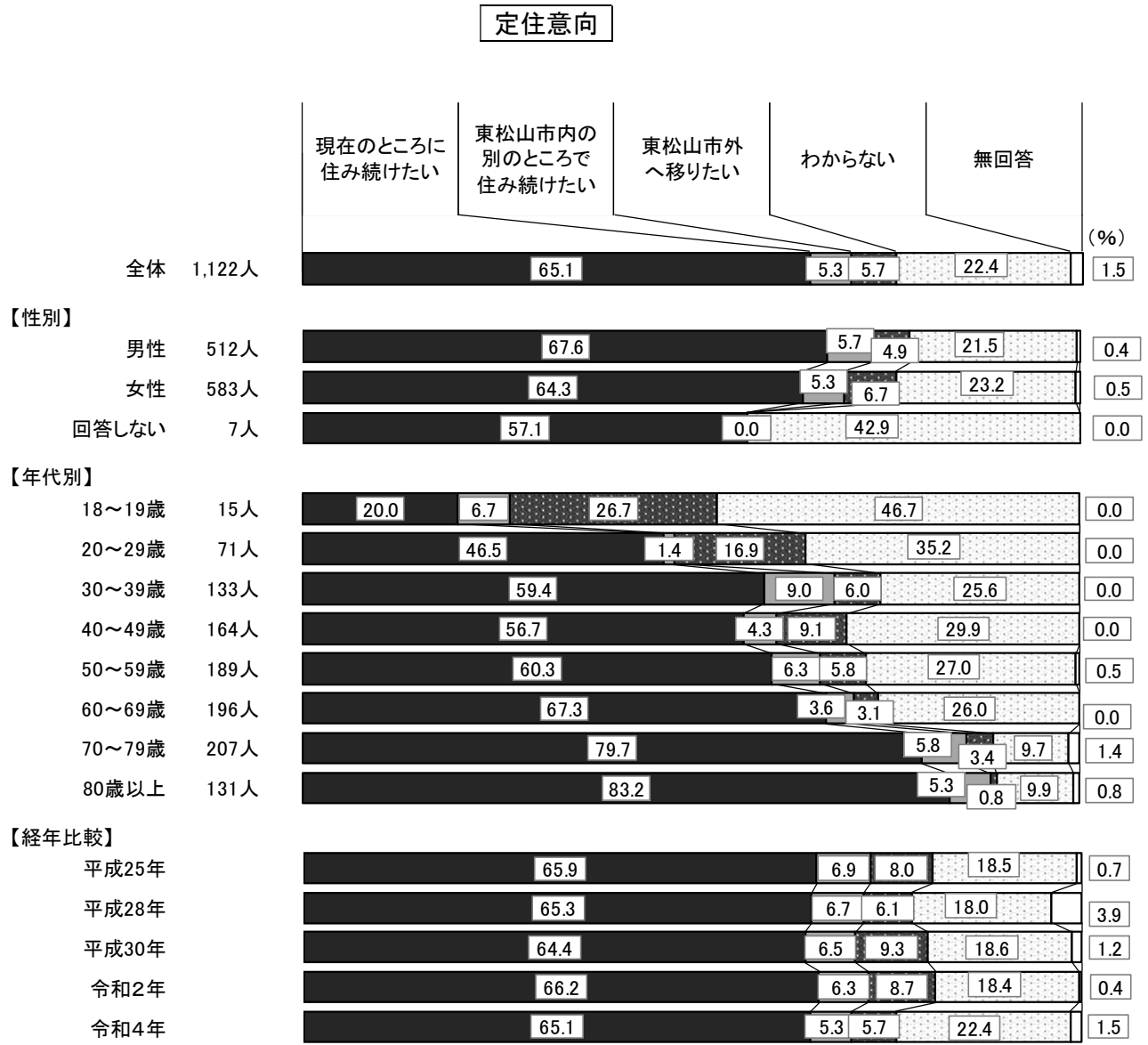
地区別で見ると“住みよいと感じている”は、大岡地区を除く全ての地区で6割以上となっています。

愛着度別で見ると、愛着度が高いほど“住みよいと感じている”と回答した割合が高く、愛着があるでは93.1%と高くなっています。一方で、愛着がないでは“住みにくい”とする割合が50.0%となっています。

1-3 定住意向

◆定住意向は 65.1%◆

問3. あなたは、現在住んでいるところに、これからも住み続けたいですか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

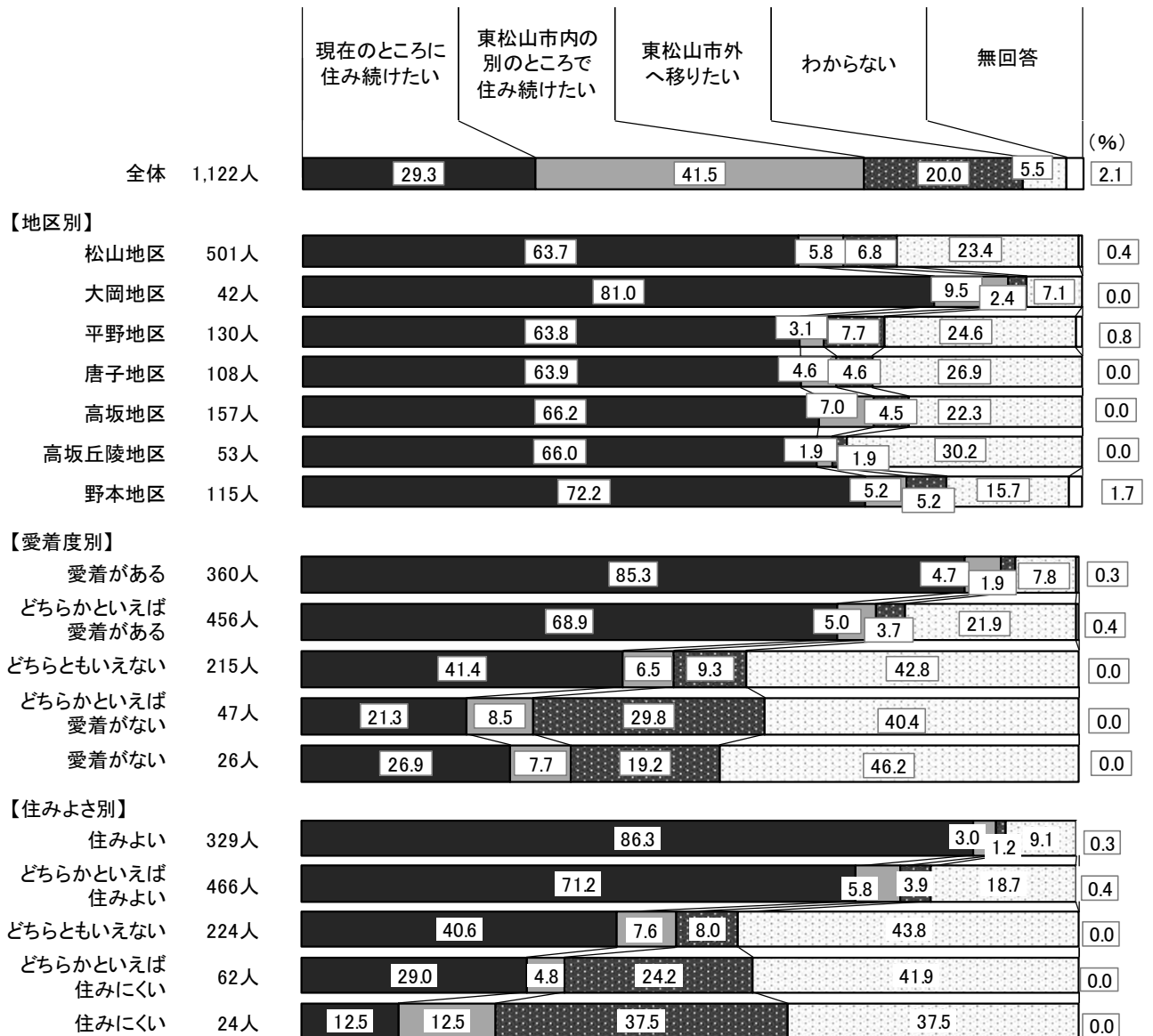


全体では「現在のところに住み続けたい」の割合が 65.1%と高くなっています。

年代別でみると「現在のところに住み続けたい」は、年代が上がるほど高くなる傾向にあり、80歳以上で 83.2%となっています。また、18歳～19歳、20～29歳で「東松山市外へ移りたい」「わからない」と回答した割合はそれぞれ1割半ば～2割半ば、3割半ば～4割半ばと他の年代に比べて高くなっています。

令和2年度調査と比較すると「現在のところに住み続けたい」が 1.1ポイント減少しています。

定住意向



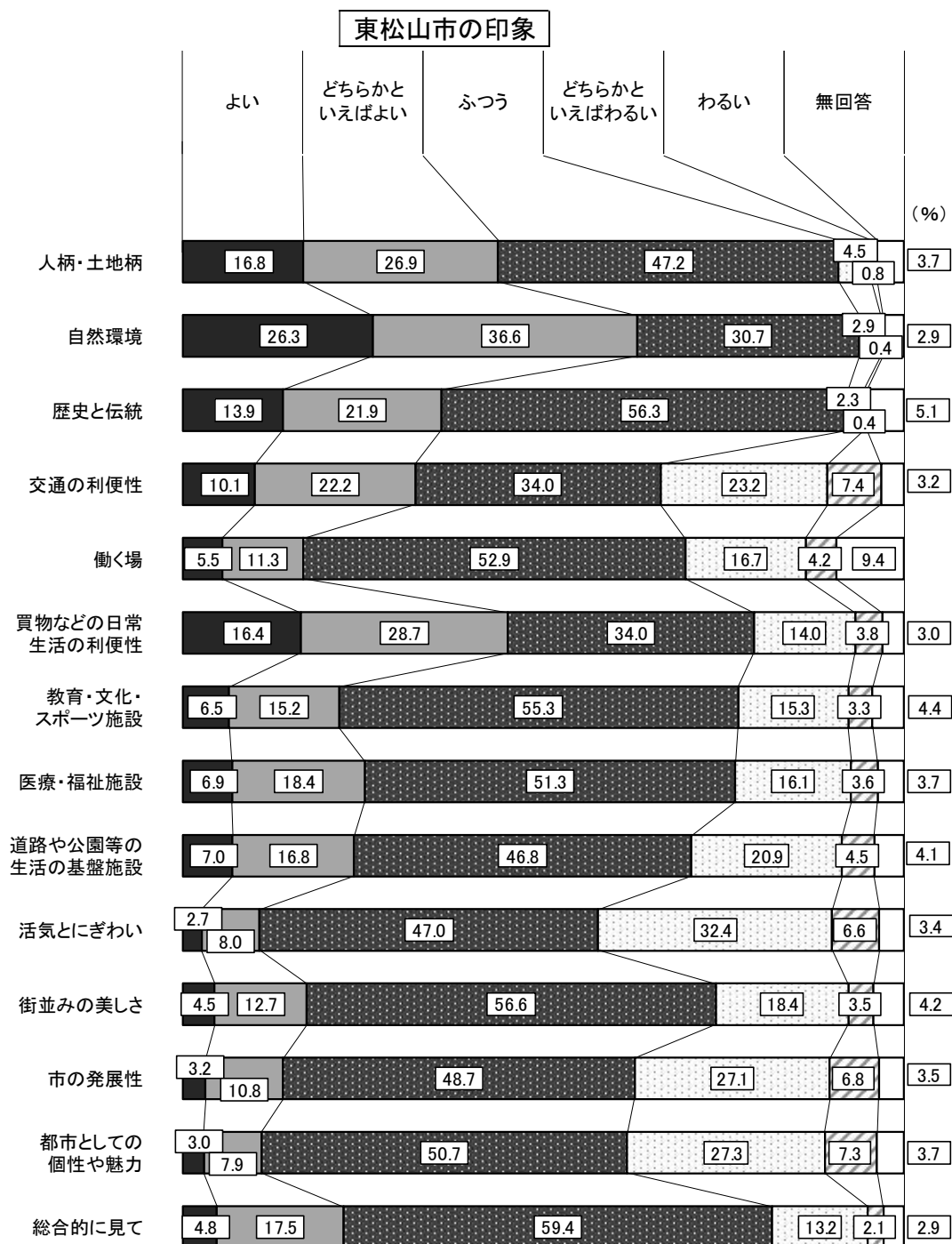
地区別でみると「現在のところに住み続けたい」は、大岡地区で81.0%と高くなっています。愛着度別でみると、愛着度が高いほどおおむね定住意向が高く、「現在のところに住み続けたい」は、愛着があるで85.3%となっています。

住みよさ別でみると、住みよさが高いほど定住意向も高い傾向にあり、「現在のところに住み続けたい」は、住みよいで86.3%となっています。

1-4 東松山市の印象

◆<自然環境><買物などの日常生活の利便性><人柄・土地柄>等の評価が高くなっている◆

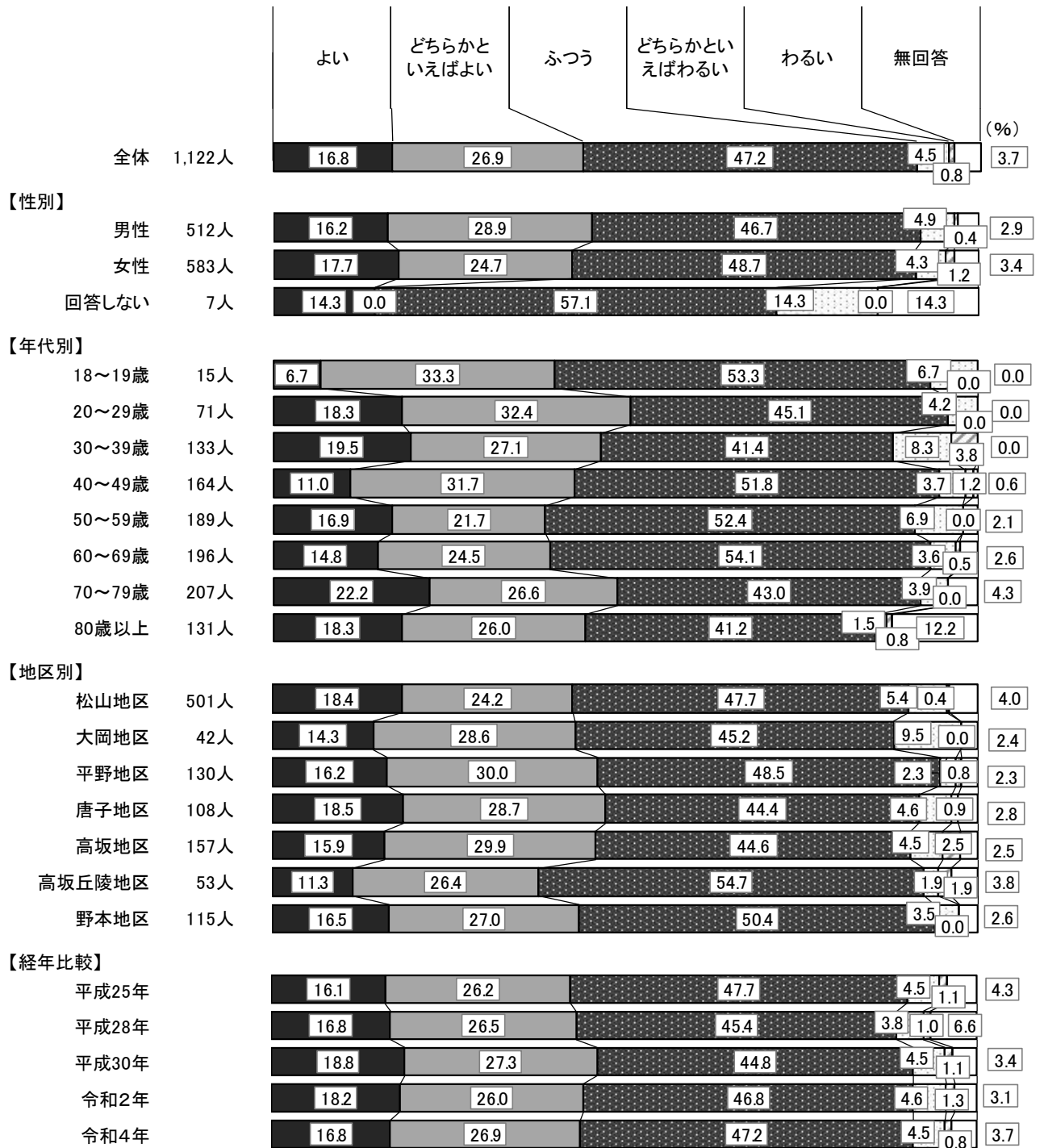
問4. あなたは、東松山市についてどのように思いますか。次の項目について、それぞれ1つ選び、番号を○で囲んでください。



「よい」と「どちらかといえばよい」をあわせた“よい”が「わるい」と「どちらかといえばわるい」を合わせた“わるい”を上回る項目は<人柄・土地柄><自然環境><歴史と伝統><交通の利便性><買物などの日常生活の利便性><教育・文化・スポーツ施設><医療・福祉施設><総合的に見て>の8項目となっており、それ以外の項目では“わるい”が“よい”を上回っています。

人柄・土地柄 ◆ “よい” 43.7%、“わるい” 5.3%◆

人柄・土地柄

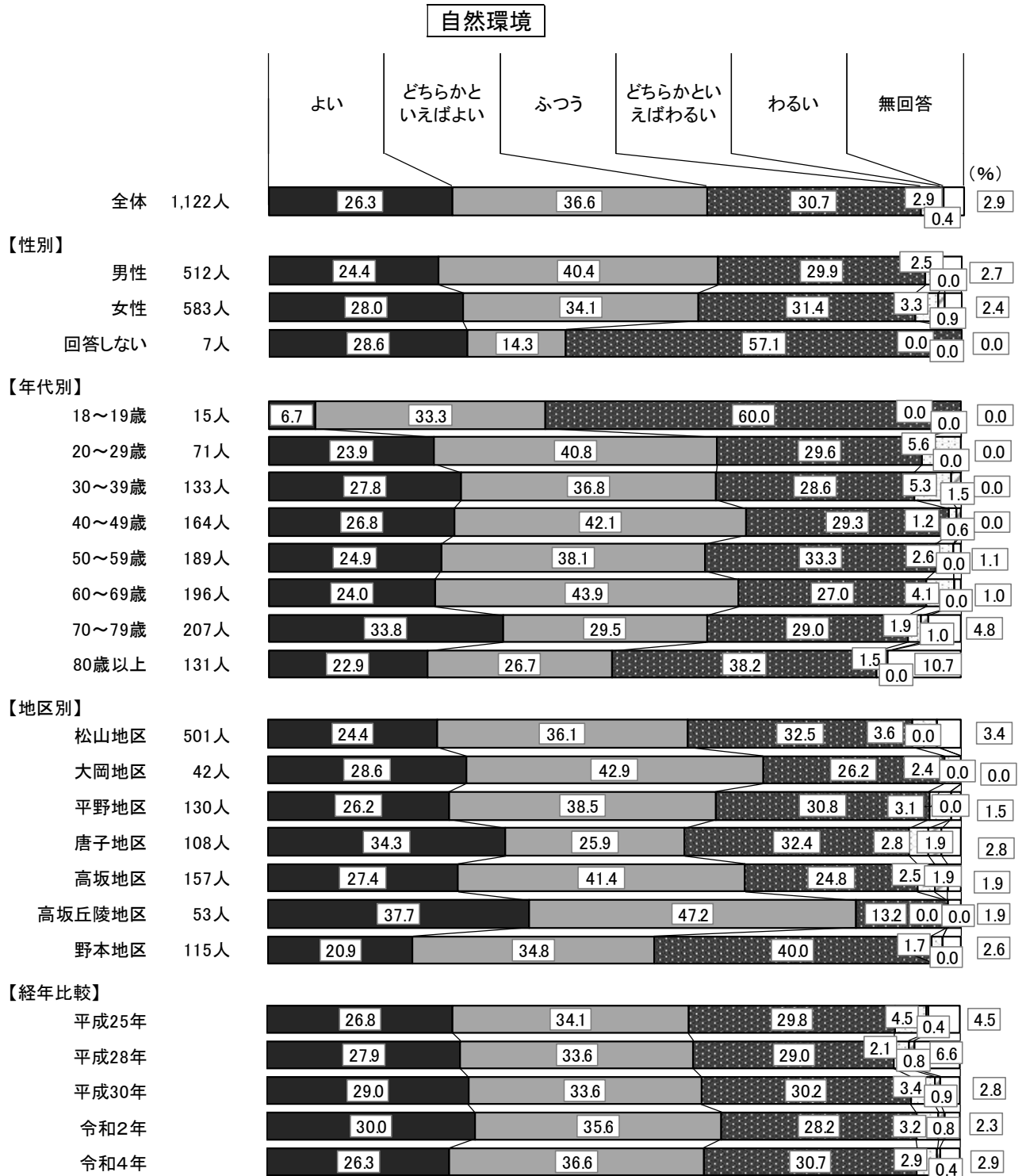


全体では“よい”の割合が43.7%、「ふつう」の割合が47.2%、“わるい”の割合が5.3%となっており、令和2年度調査と比較すると“よい”が0.5ポイント減少しています。

年代別では“よい”は20～29歳が50.7%と最も高くなっています。

地区別でみると“よい”は唐子地区で47.2%と最も高くなっています。

自然環境 ◆ “よい” 62.9%、“わるい” 3.3%◆



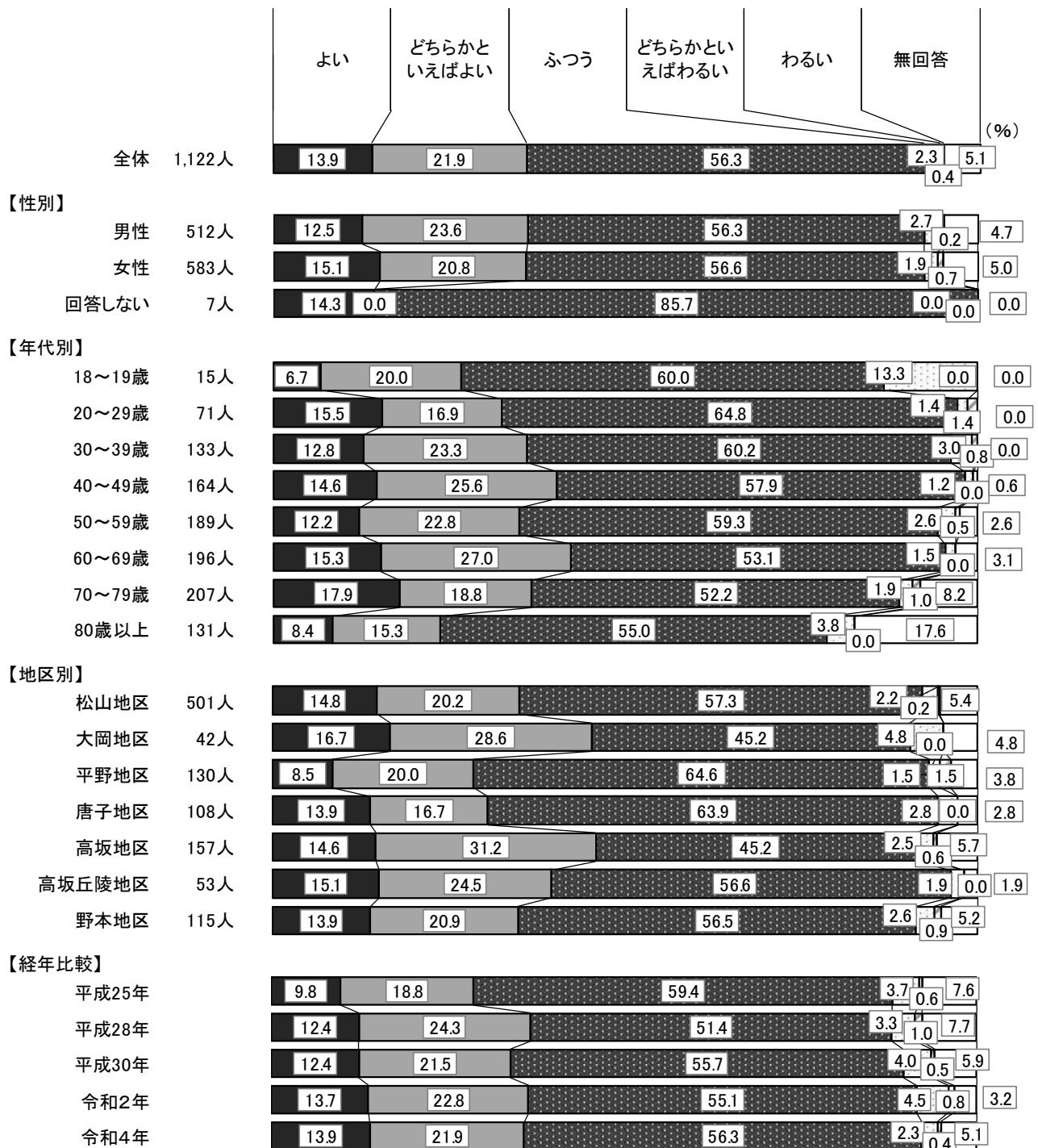
全体では“よい”の割合が62.9%、「ふつう」の割合が30.7%、“わるい”の割合が3.3%となっており、令和2年度調査と比較すると“よい”が2.7ポイント減少しています。

年代別でみると“よい”は40～49歳で68.9%と最も高くなっています。

地区別でみると“よい”は高坂丘陵地区で84.9%と最も高くなっています。

歴史と伝統 ◆ “よい” 35.8%、“わるい” 2.7%◆

歴史と伝統



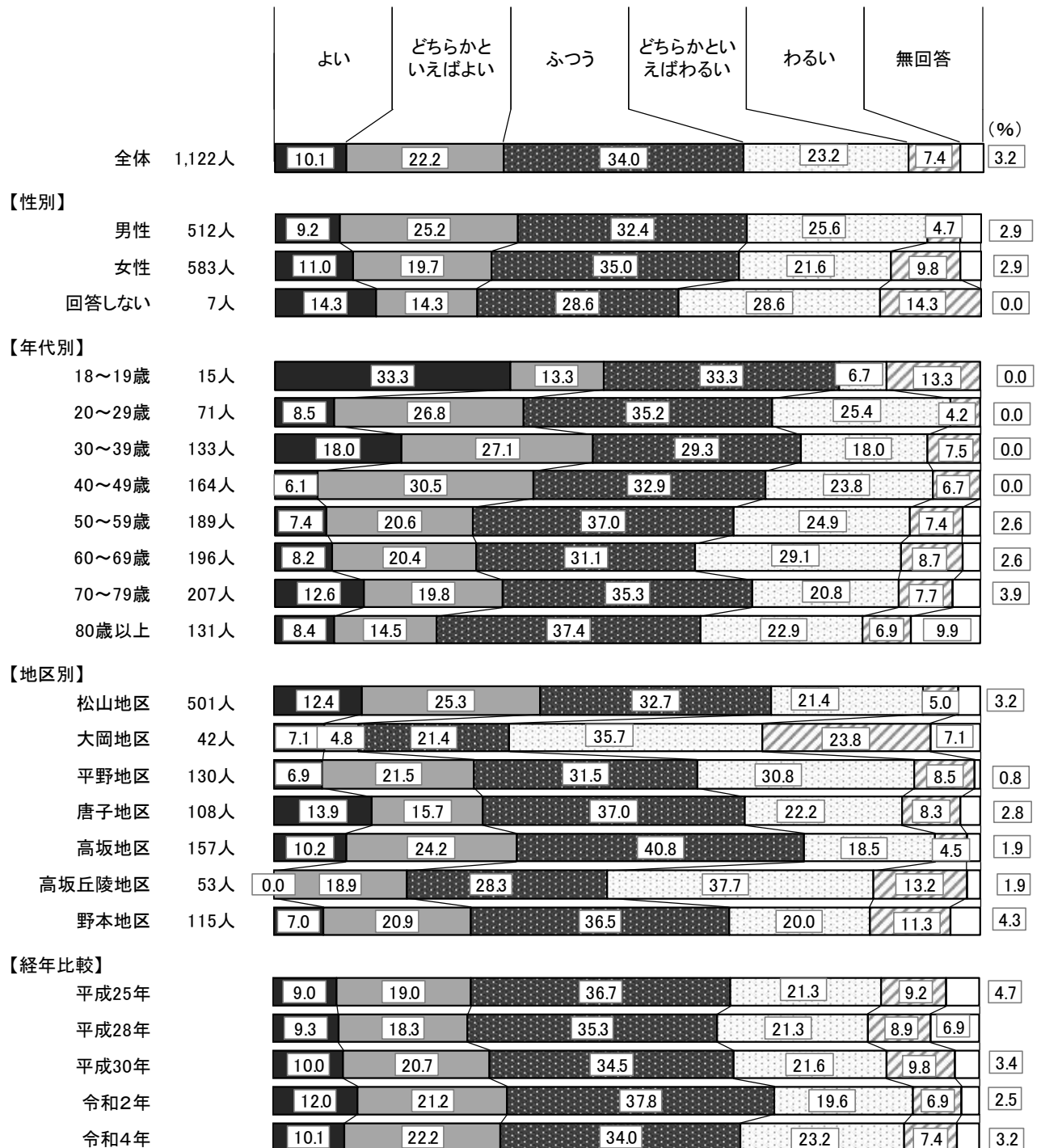
全体では“よい”の割合が35.8%、「ふつう」の割合が56.3%、“わるい”の割合が2.7%となっており、令和2年度調査と比較すると“よい”が0.7ポイント減少しています。

年代別でみると“よい”は60～69歳で42.3%と最も高くなっています。

地区別でみると“よい”は高坂地区で45.8%と最も高くなっています。

交通の利便性 ◆ “よい” 32.3%、“わるい” 30.6%◆

交通の利便性

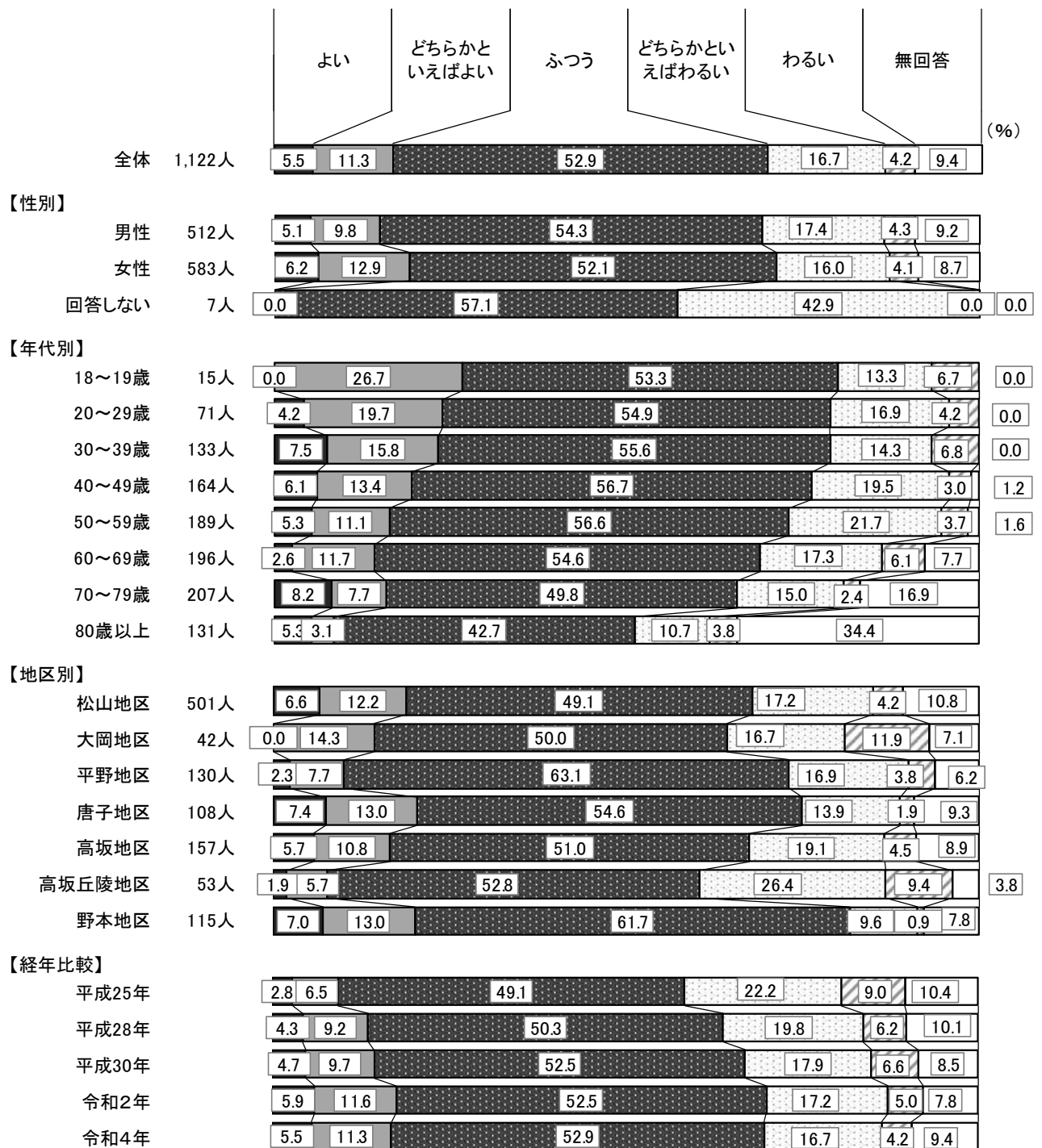


全体では“よい”の割合が32.3%、「ふつう」の割合が34.0%、“わるい”の割合が30.6%となっており、令和2年度調査と比較すると“よい”が0.9ポイント減少しています。

年代別でみると“わるい”は40～49歳、50～59歳、60～69歳で3割台と高くなっています。地区別でみると“よい”は松山地区で37.7%、高坂地区で34.4%と高くなっています。一方“わるい”は大岡地区で59.5%と最も高くなっています。

働く場 ◆ “よい” 16.8%、“わるい” 20.9%◆

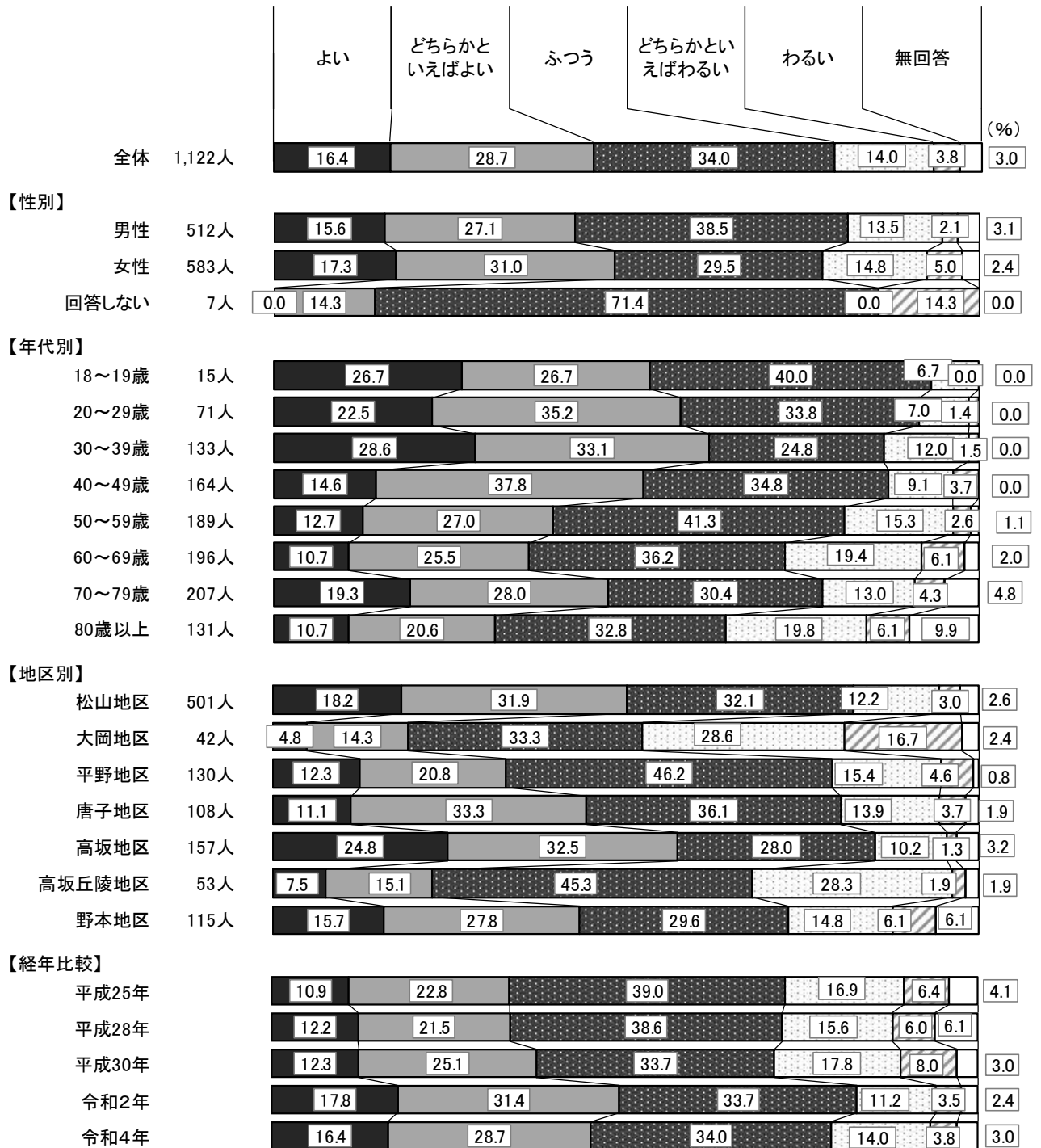
働く場



全体では“よい”の割合が16.8%、「ふつう」の割合が52.9%、“わるい”の割合が20.9%となっており、令和2年度調査と比較すると“よい”が0.7ポイント減少しています。
 年代別でみると“わるい”は50～59歳で25.4%と最も高くなっています。
 地区別でみると“わるい”は高坂丘陵地区で35.8%と最も高くなっています。

買物などの日常生活の利便性 ◆ “よい” 45.1%、“わるい” 17.8%◆

買物などの日常生活の利便性



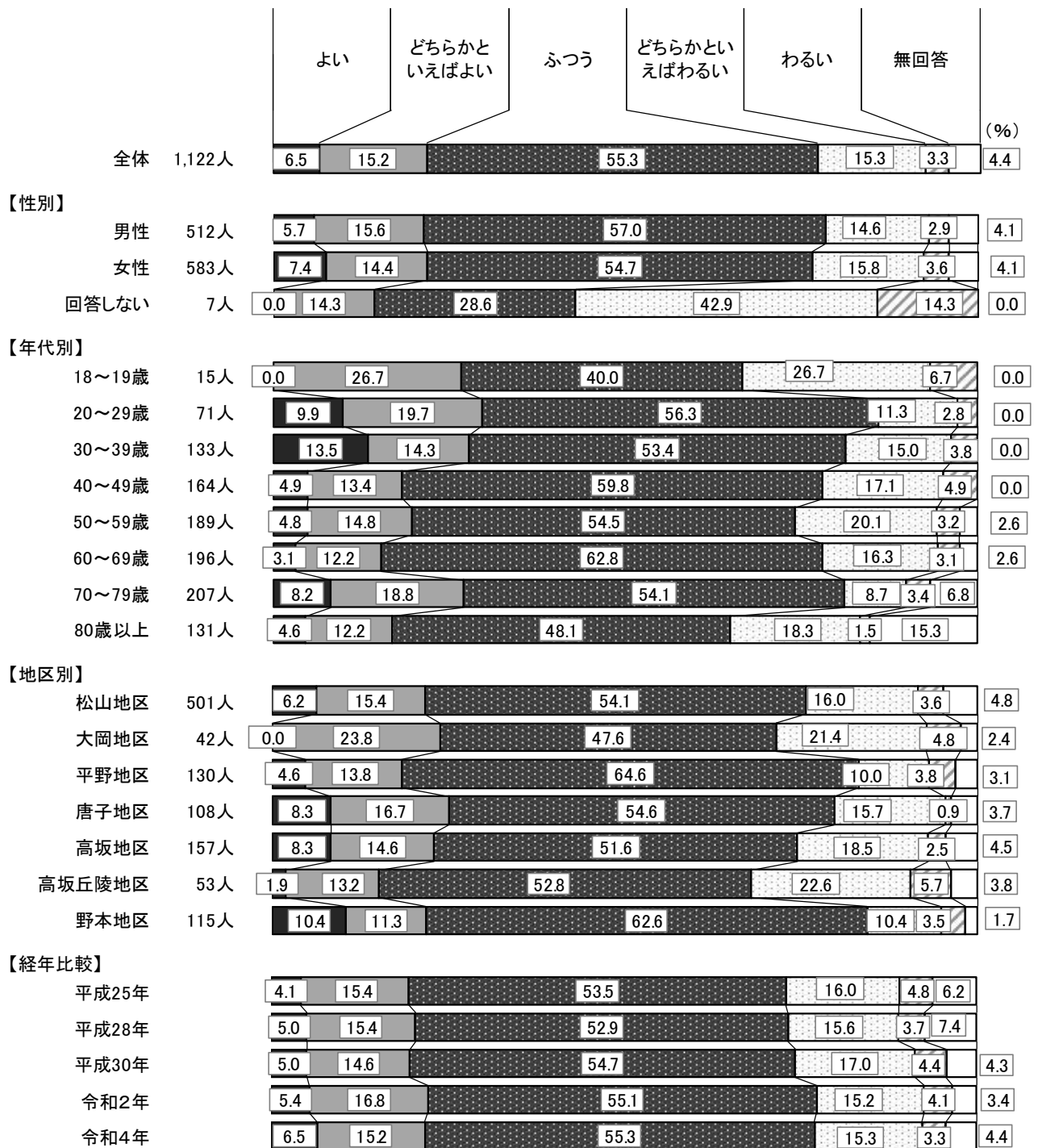
全体では“よい”の割合が45.1%、「ふつう」の割合が34.0%、“わるい”の割合が17.8%となっており、令和2年度調査と比較すると“よい”が4.1ポイント減少しています。

年代別でみると“よい”は30～39歳で61.7%と最も高くなっています。

地区別でみると“よい”は高坂地区で57.3%と最も高くなっています。一方“わるい”は大岡地区で45.3%と最も高くなっています。

教育・文化・スポーツ施設 ◆ “よい” 21.7%、“わるい” 18.6%◆

教育・文化・スポーツ施設



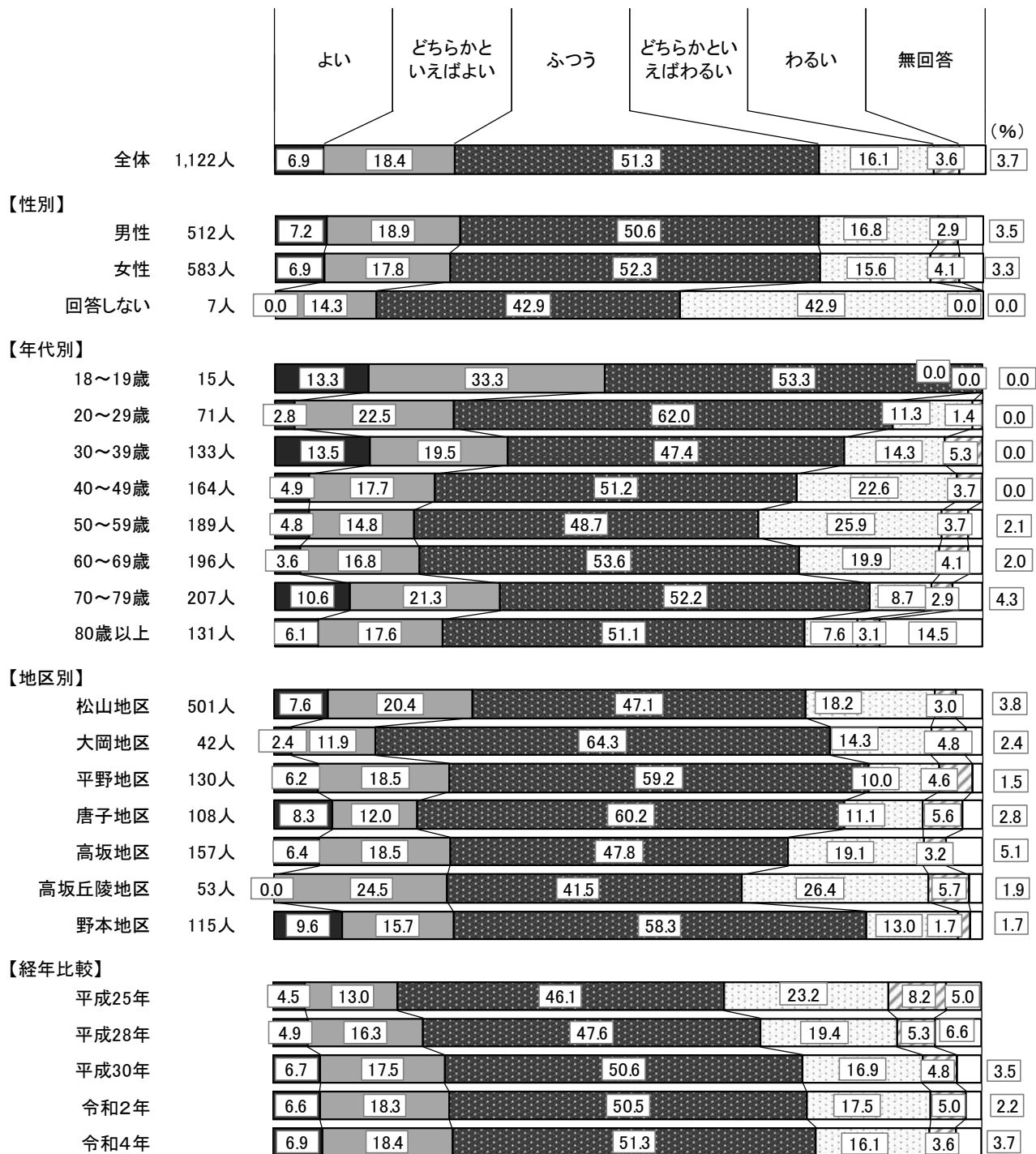
全体では“よい”の割合が21.7%、「ふつう」の割合が55.3%、“わるい”の割合が18.6%となっており、令和2年度調査と比較すると“よい”が0.5ポイント減少しています。

年代別でみると“よい”は20～29歳で29.6%と最も高くなっています。

地区別でみると“わるい”は高坂丘陵地区で28.3%と最も高くなっています。

医療・福祉施設 ◆ “よい” 25.3%、“わるい” 19.7%◆

医療・福祉施設



全体では“よい”の割合が25.3%、「ふつう」の割合が51.3%、“わるい”の割合が19.7%となっており、令和2年度調査と比較すると“よい”が0.4ポイント増加しています。

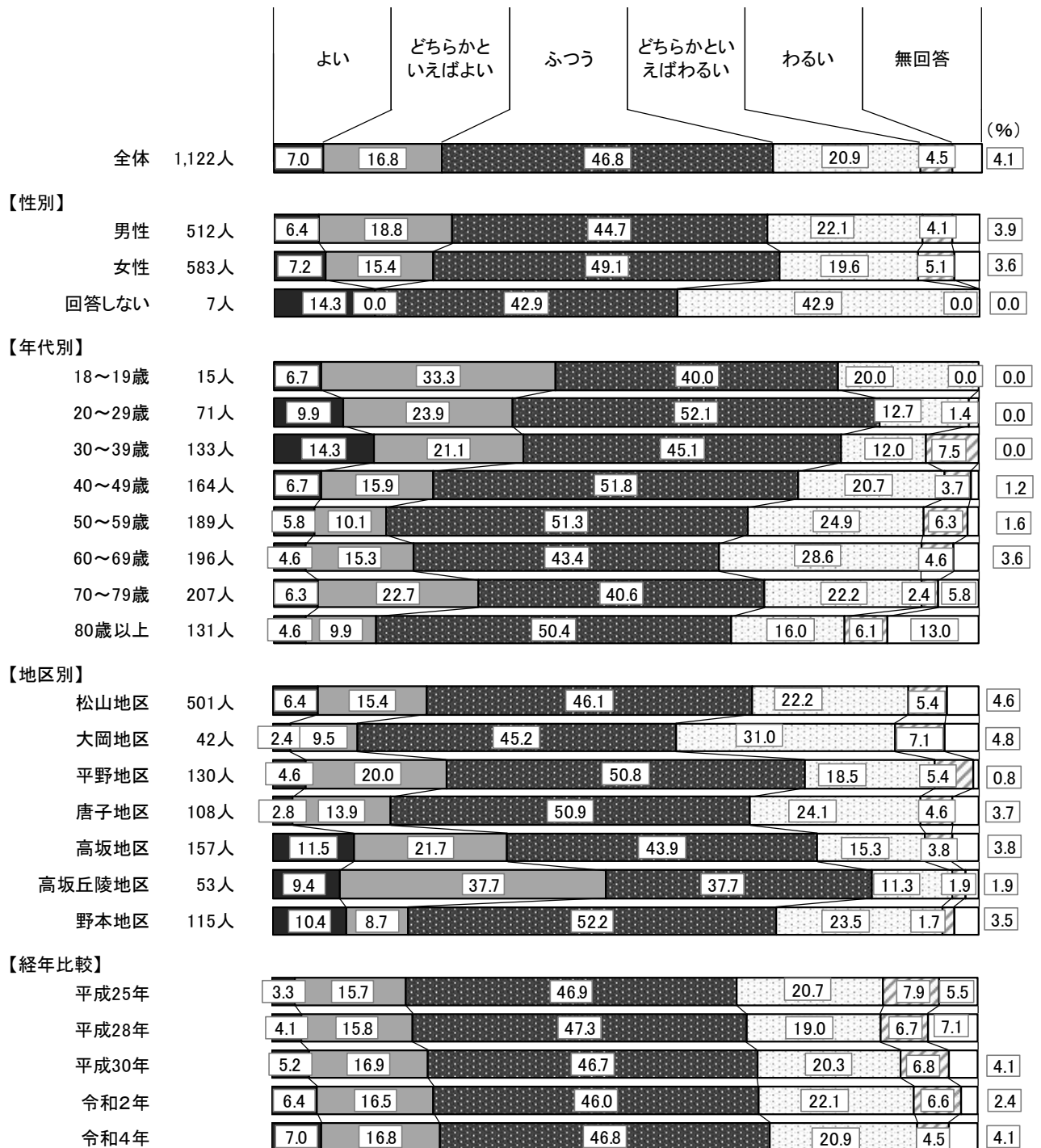
年代別でみると“よい”は18~19歳で46.6%、30~39歳、70~79歳で3割台と高くなっています。

地区別でみると“わるい”は高坂丘陵地区で32.1%と最も高くなっています。

経年比較すると“よい”と思っている人が増えています。

道路や公園等の生活の基盤施設 ◆ “よい” 23.8%、“わるい” 25.4%◆

道路や公園等の生活の基盤施設



全体では“よい”の割合が23.8%、「ふつう」の割合が46.8%、“わるい”の割合が25.4%となっており、令和2年度調査と比較すると“よい”が0.9ポイント増加しています。

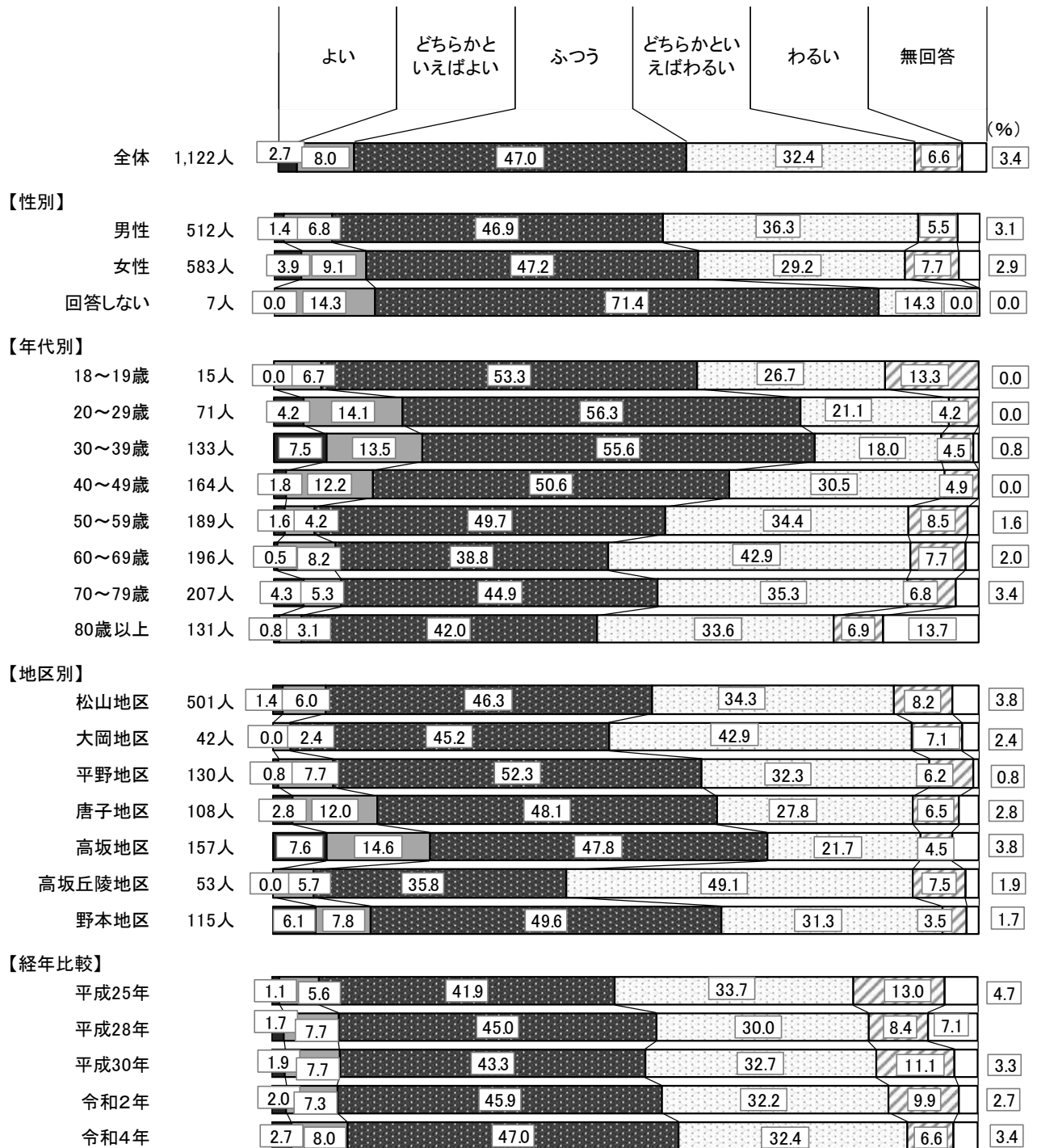
年代別でみると“わるい”は60～69歳で33.2%と最も高くなっています。

地区別でみると“よい”は高坂丘陵地区で47.1%と最も高くなっています。一方“わるい”は大岡地区で38.1%と最も高くなっています。

経年比較すると“よい”と思っている人が増えています。

活気とにぎわい ◆ “よい” 10.7%、“わるい” 39.0%◆

活気とにぎわい



全体では“よい”の割合が10.7%、「ふつう」の割合が47.0%、“わるい”の割合が39.0%となっており、令和2年度調査と比較すると“よい”が1.4ポイント増加しています。

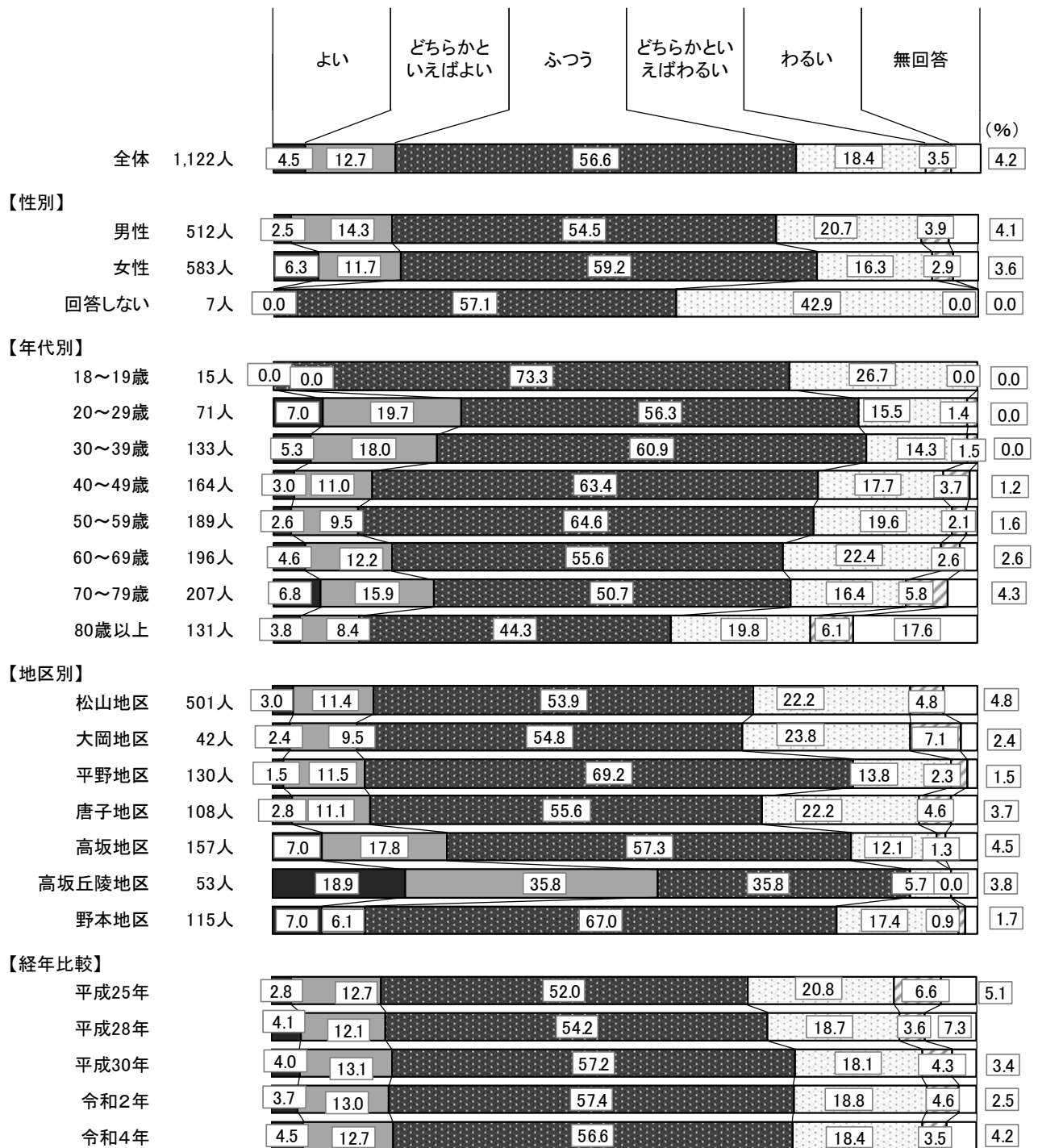
年代別でみると“わるい”は60～69歳で50.6%と最も高くなっています。

地区別でみると“わるい”は高坂丘陵地区で56.6%と最も高くなっています。

経年比較すると“よい”と思っている人が増えています。

街並みの美しさ ◆ “よい” 17.2%、“わるい” 21.9%◆

街並みの美しさ



全体では“よい”の割合が17.2%、「ふつう」の割合が56.6%、“わるい”の割合が21.9%となっており、令和2年度調査と比較すると“よい”が0.5ポイント増加しています。

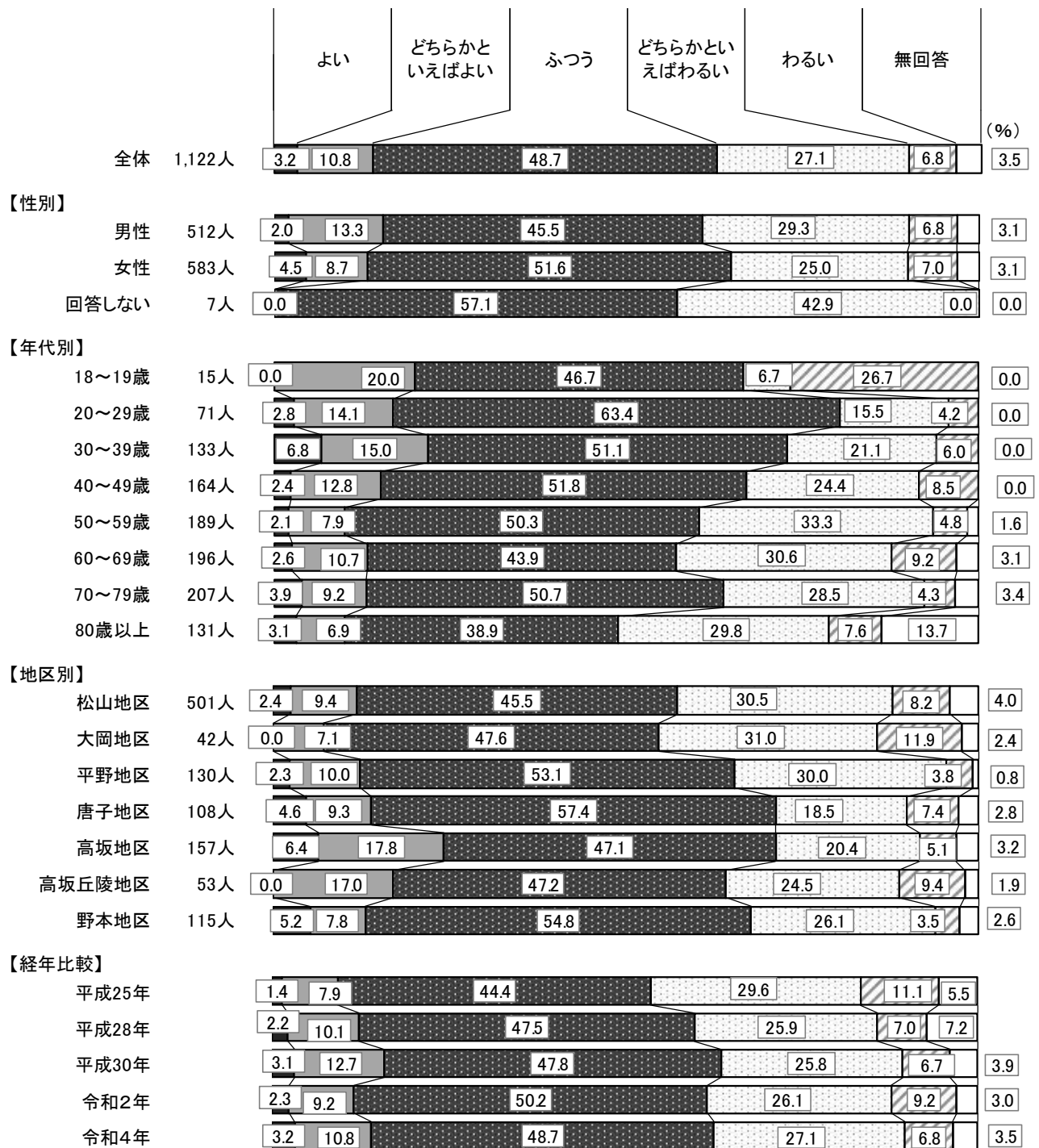
年代別でみると“よい”は20～29歳で26.7%と最も高くなっています。一方“わるい”は18～19歳、60～69歳、80歳以上で2割半ばと高くなっています。

地区別でみると“よい”は高坂丘陵地区で54.7%と群を抜いて高くなっています。大岡地区では“よい”は11.9%にとどまっています。

経年比較すると“よい”と思っている人が増えています。

市の発展性 ◆ “よい” 14.0%、“わるい” 33.9%◆

市の発展性



全体では“よい”の割合が14.0%、「ふつう」の割合が48.7%、“わるい”の割合が33.9%となっており、令和2年度調査と比較すると“よい”が2.5ポイント増加しています。

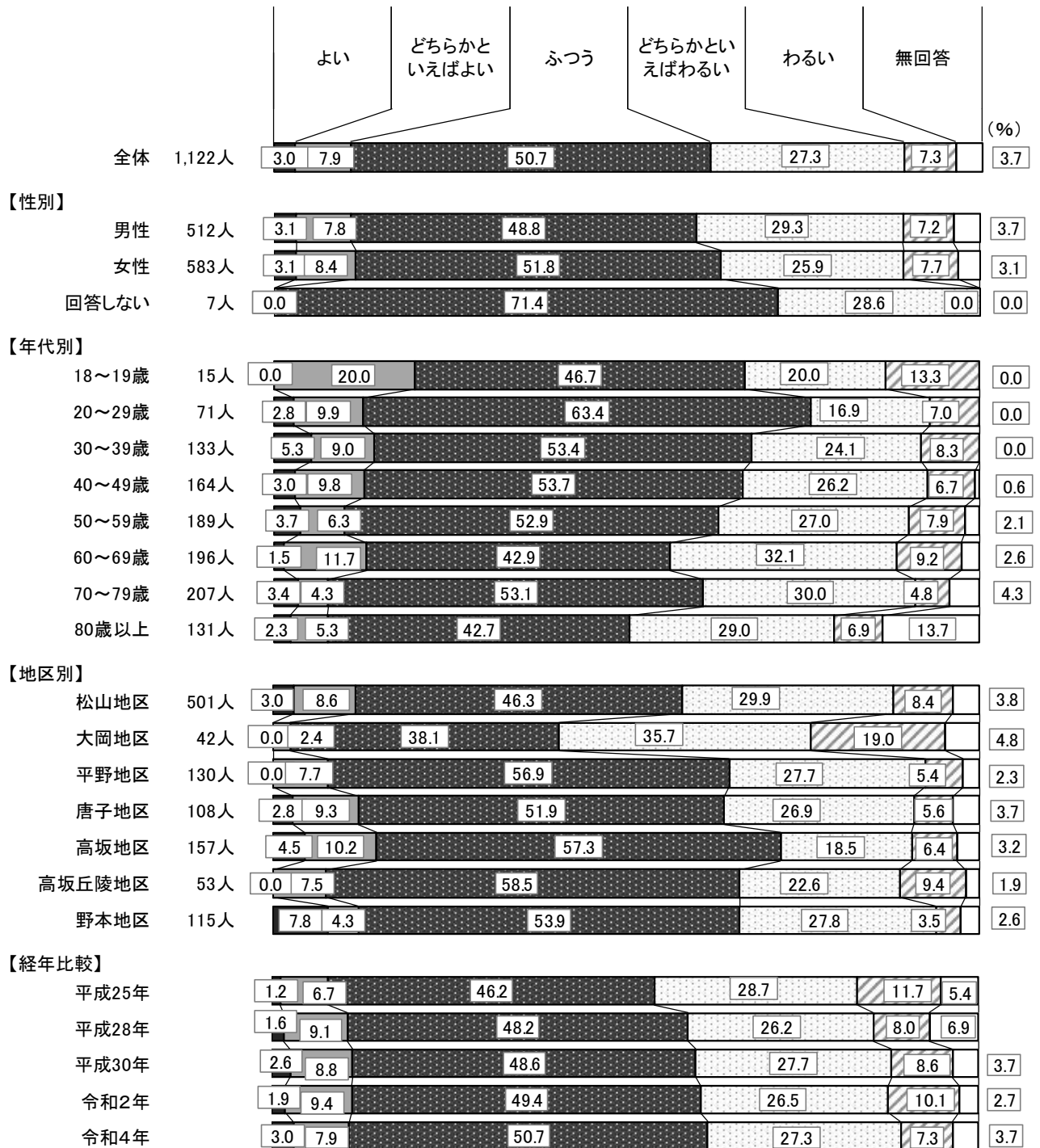
年代別でみると“よい”は30～39歳で21.8%と最も高くなっています。一方“わるい”は60～69歳代で39.8%と最も高くなっています。

地区別でみると“よい”は高坂地区で24.2%と最も高くなっています。一方“わるい”は大岡地区で42.9%と最も高くなっています。

経年比較すると“よい”と思っている人が増加傾向にあります。

都市としての個性や魅力 ◆ “よい” 10.9%、“わるい” 34.6%◆

都市としての個性や魅力



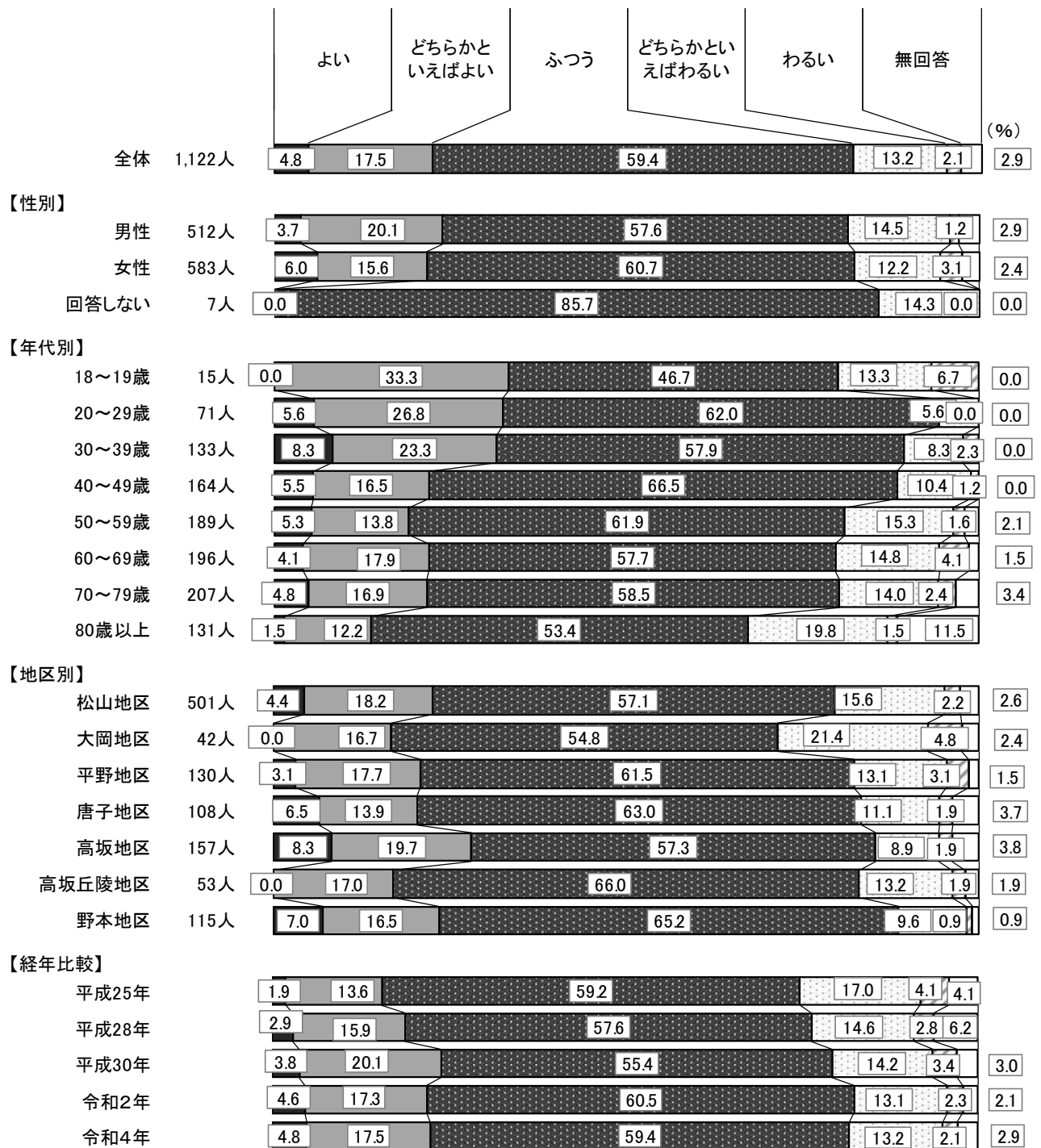
全体では“よい”の割合が10.9%、「ふつう」の割合が50.7%、“わるい”の割合が34.6%となっており、令和2年度調査と比較すると“よい”が0.4ポイント減少しています。

年代別でみると“わるい”は60～69歳で41.3%と最も高くなっています。

地区別でみると大岡地区で“わるい”が54.7%と最も高くなっています。

総合的に見て ◆ “よい” 22.3%、“わるい” 15.3%◆

総合的に見て



全体では“よい”の割合が22.3%、「ふつう」の割合が59.4%、“わるい”の割合が15.3%となっており、令和2年度調査と比較すると“よい”が0.4ポイント増加しています。

年代別でみると“よい”は年代が上がるほどおおむね減少する傾向にあります。

地区別でみると“よい”は高坂地区で28.0%と最も高くなっています。一方“わるい”は大岡地区で26.2%と最も高くなっています。

経年比較すると“よい”と思っている人が増加傾向にあります。